

建設部ニュース



Vol.52

平成28年12月1日発行

① 平成28年度第1回景観審議会を開催しました。

●都市計画課

11月4日（金）、『平成28年度第1回塩竈市海と社の景観審議会』を開催しました。

今回は策定した景観計画に基づく、条例の改正に向け、眺望景観保全のための建物の高さ制限や建築物の色彩制限等について、委員の皆様から活発なご意見をいただきました。

今後、いただいたご意見をふまえ、市民や事業者の皆様とも意見交換を行いながら、条例の改正に向け、取り組んでまいります。

また、千賀の浦緑地に建設予定の野外施設についても、景観形成上、様々な視点から助言いただきました。この助言を基にウォーターフロントにふさわしく、市民の皆様に親しまれる施設となるよう取り組んでまいります。



▲景観審議会

塩竈神社からの眺望景観保全のシミュレーション

高さ20mの建物が建つ場合は眺望にほとんど影響しませんが、1棟でも40m級の高い建築物が建つと、眺望景観が損なわれてしまいます。

高さ20mの高さが建つ場合



高さ40mの高さが建つ場合



② 第三中学校避難路整備工事が完了しました

●土木課

指定避難所に指定されている第三中学校への避難路整備工事が完了しました。県道仙台塩釜線（産業道路）沿線から高台へ避難する際の最短ルートで、未整備区間に階段を整備いたしました。

路面に雨水が浸み出すことのないように砕石を敷いており、雨天時でも階段の上り下りがしやすくなっております。



整備前



整備後

③ 都市マスタープランの改定作業を進めています。

●都市計画課

都市計画課では、昨年度から都市マスタープランの改定に向け取り組んでいます。この都市マスタープランは都市計画に関する基本的な方針であり、概ね20年先のまちづくりの方向性を示すもので、現在の計画は平成7年度に策定されました。

この間、人口減少や少子高齢化、東日本大震災など、本市を取りまく社会情勢が大きく変化しております。このことから、「コンパクトで持続可能な都市」、「美しく住みやすい都市」、「魅力と賑わいのある都市」を目指した計画の改定に取り組んでいます。

11月は、都市マスタープラン改定有識者懇談会、塩釜高校の生徒や市内で活躍する若手の方々とのワークショップなどを開催し、まちづくりについて様々な方々と意見交換を行いました。

塩釜高校未来まちづくりワークショップ



11月12日（土）、塩釜高校の生徒とまちあるきなどのワークショップを行いました。生徒が自ら考えたルートに沿って、写真を撮りながら歩きました。



昼食は魚市場で佐藤市長と昼食懇談会を行いました。生徒から市長へまちづくりについての鋭い質問が投げかけられました。



生徒たちは撮った写真をマップに貼るなどして、塩釜の魅力を見つめました。塩釜を「知る」貴重な体験となりました。

市内で活躍する若手との意見交換

11月29日（火）、市内で活躍する20歳～30歳代の若手の方々とまちづくりについての意見交換を行いました。

「産業」、「商業」、「観光」、「子育て」、「定住」の各テーマに分かれ、30名で塩釜の未来のまちづくりについて考え、議論を繰り広げました。



都市マスタープラン改定有識者懇談会

11月10日（木）、第3回塩釜市都市マスタープラン改定有識者懇談会を塩釜市魚市場で開催しました。

今回は地域別構想について検討を行い、学識経験者や様々な分野の方々からご意見を頂きました。

来年3月の改定に向けて、検討を進めてまいります。



▲会長 風見正三教授



▲第3回有識者懇談会

掲載記事に関する窓口・お問い合わせ先

- ①③都市計画課 Tel.022-364-2510
- ②土木課 Tel.022-364-1118

塩釜市ホームページに
バックナンバーを掲載
しています！



(スマホ用)

塩釜市公式サイト <http://www.city.shiogama.miyagi.jp/> 『建設部ニュース vol.52』発行/塩釜市建設部

塩釜市建設部ニュースのフェイスブックもご覧ください！！

塩釜市建設部 フェイスブック

検索